

『選挙』の大切さを知ろう 2016.1.8 感想等

○3年男子

今日の選挙の話を聞いて、選挙の大切さを知ることができました。自分達は選挙に参加しなくても大丈夫だと思っていたけど、しっかりと投票しないと自分達の世代の意見が反映されないので参加しようと思いました。今は、テレビでもよく政治についてのニュースを目にすることがあるのでしっかりとそのニュースにも興味を持っていきたいと思いました。18歳から選挙参加になるので、ネットやニュースでも政治活動出来るとも言っていたので、同世代の人達の意見など活動がとても気になります。実際に、病院や保育所を作ってほしいと言っても作ってくれるのだろうかなどと不安にも思いますが、政治家の人に期待したいと思います。仕事や学校で投票にいけない場合にも期日前投票制度があるので、とても簡単に投票できるなと思いました。今日の話聞いて、今の選挙投票の状況や内容をくわしく講座していただいたので良かったです。今日は自分にとってまたいい勉強が出来て良かったです。

○3年男子

選挙について何も知らなかったなので、この講習はとても自分のためになりました。18歳から投票ができるし、選挙運動も可能となるので、もっと有権者として自覚しなければと思います。社会などで政治や選挙の勉強などをしましたが、まったく思いに入っていなかったなので、もう少し勉強しなければならないと思いました。そして気になったのが、若い世代の投票率が低いということです。このままだと若い世代の意見よりも高齢者の政治のようになってしまうと思うので、選挙権年齢を18歳に引き下げたのは、とても意味があると思います。自分達の将来のためには、僕はまず選挙に興味を持つことが大切だと思います。自分も18歳になったので、家族と話しをしたり、ポスターなどを見たり、インターネット、SNSなどを見たり、今回のような講習会を聴いてみたりして、興味を持って政治のことを頭に入れて、選挙にのぞみたいと思います。しかし、投票に行かない人がいるのも事実です。適当な候補者や政党がなかったり、政党の政策などがよく分からなかったりして、投票できない人がいるのは、これからの日本の課題だと思います。

○3年男子

有権者になるということは、権利を持つということ、特に政治について重要な役割を持つ選挙等に参加する権利を持つということを知り、僕も現在18歳になっているので、選挙に関心を持っていかなければならないと感じました。現在投票率は下がってきており、年齢別で見ると20~24歳台の投票率が低い事が分かりました。投票に行かない理由として「適当な候補者も政党もなかったから」「選挙にあまり関心がなかったから」「私1人が投票してもしなくても同じだから」などがあり、若者の声を政治に十分に反映するために投票数を増

やしていかなければならないと感じました。投票では、投票所で一人一票（選挙区と比例区がある国政選挙ではそれぞれ一票）が原則とされています。また投票時間や投票所の場所は自宅に送られる投票所入場券に書いている事が分かりました。もし用事があって当日に投票する事が出来ない場合は期日前投票制度によって立候補者届出の翌日から投票前日まで投票出来る事を知り、投票数を増やすための手段としてとてもいい方法だと思いました。最後には投票と選挙運動についてのクイズがありました。同じ同級生のやり取りで「食事をおごるから次の選挙で〇〇さんに投票してな」とかいう話しをする事も許されないことやインターネットで候補者のホームページを見たところ〇〇さんの政策に最も共感出来たので SNS で広めることは出来る事が分かりました。投票時には投票先を決めるために選挙公報を読んだり、候補者・政党の HP 等を見たりして、自分が共感出来ると思った候補者を投票出来るようにしたいと思いました。

○3年女子

今回、選挙についてのお話をきいて、今まで選挙についての知識が少なかったことに改めて気付くことができました。選挙は、今は 18 歳からさんかできることになり、来年は自分も選挙権を持っています。今まではまだ先だと他人事だと思っていたけど、きちんと理解しないといけないと責任を感じる事ができました。選挙に参加すると、生活を良くするための意見や政治のためになることに対して、私の意見を反映してくれるかもしれないです。そのための代表者を選挙して、そして私たちのための日本を作ってもらおうのです。

最近若人たちの投票率が低らしく、色々な対策が立てられています。今回の有権者の年齢引き下げも、記述前投票もその一つです。なぜ行かないのかについては、適当な候補者がいないことが選挙に対する関心がないことが理由になっています。まずは選挙に関心をもって向き合うことが大切だと言っていました。私は、まだ選挙に関する知識が少ないので、関心を持って、学習し、そして夏にはきちんと参加していきたいと思います。そして、みんなのための日本をつくってもらってより良い生活を送りたいです。全ての方が幸せになるような政治を目指して、私も選挙に参加していこうと思います。

○3年女子

私は政治についてのニュースなどを見たことはありますが、使っている言葉が難しくそれほど知ろうと思いませんでした。しかし今年の夏から選挙権が変わり人事じゃないと思うようになりました。私は社会全般が苦手な親にもよくニュースを見なさいと注意されます。私も今年の夏には投票に行く権利があるので立候補者の皆さんがどういう目的、目標をもとに立候補しているのか理解していく必要があると思いました。また若者の投票率が低いことから若者の声が政治に届きにくくなってしまった場合、私たちの世代が大人になった頃には

若者が生活しにくくなるような社会になってしまいそうで少し不安です。そう考えてみると、今回選挙権が改正される事によって若者の投票数が増えて若者の声も届き政治にも反映されればうれしいです。そして、今回選挙権があると同時に、満 18 歳になると選挙運動も可能になります。私は今までずっと選挙運動というのは立候補者やその政党の人たちだけが行うものだと思っていました。しかし、選挙運動には電話や掲示板、ぶろぐ、私たち若者に身近な SNS、動画サイトを使うことが可能であるという事なので私たちも実践しやすいのいいなと思いました。また、立候補者についての情報もニュースや街頭演説だけでなく、私たちに身近なインターネットからでも多くの情報を知ることが出来るので、自分が住んでいるこの町がどんな町になってほしいかよく考えて自分の考えに合った立候補者に投票していこうと思います。今まで政治や選挙について無関心だった私も、この夏には投票することになるのでニュースや新聞をよく見たり、家族から色々な話を聞いて政治についての理解を深めていこうと思います。そして、自分の住んでいる町がもっとどうなっていくべきか、どうなしてほしいか考えて投票できるようになりたいです。

○3年女子

私は、社会や政治問題について参加した方が良いと思います。選挙で投票している人達が高齢の方ばかりだと、高齢者の方に対して有利な政治が行われると思います。どうして若い人達は選挙に参加しないのかは、政治に対してあまり関心がないからだと思います。まず、普段生活をしていて、政治についてのニュースを見たり聞いたりすることが少ないと思います。また、政治についてのニュースをやっていたとしても、あまり良い内容のニュースではないため、政治は難しく良い印象を持ちません。このことから、若い人達は、あまり政治に関心がないのかなと思いました。私は、なるべく自分にとって住みやすい生活を送りたいと思っています。そのためには、選挙に参加しなければならないと思いました。また、ただ選挙に参加するのではなく、事前に情報を収集しなければならないと思いました。1人1人が選挙や政治について他人事であると思わないことも大切であると思いました。もし、自分の意見なんてと思って、選挙に参加しないと、一部の人達の考えだけに基づいて政治が行われ、自分にとって不利なことになってしまうと思いました。他人任せにするのではなく、積極的に選挙に参加することが、18歳以上の人達に与えられた権利であり、これからの日本の社会を形成していく者としての責任であると思いました。講座を受ける前は、選挙は、政治について詳しい人達だけが参加するものだと勝手に思い込んでいましたが、折角 18 歳からの選挙権が認められたため、これからの日本を良くするためにも、積極的に選挙に参加するべきだと思いました。

※文字・段落等、一部転記者が変えているところがあります。